



安全データシート

この安全データシートに記載した情報は、オーキッド製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。

(1) 当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更または、一部を抜粋して使用しないで下さい。

(2) 本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号 140003 版 2.00
発行日 2015/03/01 前発行日 2014/11/20初版

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 製品名及び会社情報

製品名

名称 ハンディタイプ梱包用ラップ まくんです 各種

会社情報

供給者 富士工業株式会社

所在地 東京本社 東京都千代田区内神田2-10-12 内神田すいすいビル3階

担当部門 事業統括本部

電話番号 03-6859-2213

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本製品は成形品なのでGHS分類の対象外。

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

化学名：ポリエチレン

一般名：ポリエチレン樹脂

成分	含有量	化学式	CAS番号	危険有害成分、不純物
LLDPE、MLDPE	100%	C ₂ H ₄	9002-88-4	無い

危険性 : 常温の取り扱いでは特に危険性はない。

有害性 : 生理学的に不活性であり、人体への特別な毒性作用はない。

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

万一高温状態の蒸気や煙霧を吸い込んだ場合は、速やかに被害者を安全な場所に移し、酸素吸入させて迅速に医師の診断を受ける

皮膚に付着した場合

特に必要はない。しかし高温状態の製品が付着した場合（火傷）は、速やかにその箇所を大量の冷水に浸して皮膚を冷やし、清潔な面やガーゼで覆い医師の手当てを受ける。

眼に入った場合

製品は通常個体であり、目に入った場合は異物として取り除き、水で十分洗眼後、医師の診断を受ける。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

直ちに吐き出させる。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：通常の燃焼性物質の消火に適した水あるいは二酸化炭素、ドライケミカル泡消火剤などを使用すること。

特有の消火方法

異常な火災や爆発の危険性は考えられない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

適用しない。

環境に対する注意事項

適用しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

適用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱注意事項

通常の使用条件のもとでは、本製品からの有害化学物質の放出は予想されない。

水分、湿気、強酸化剤との接触厳禁

水濡れ厳禁、直射日光を避ける。

ダンボールを傷めるような乱暴な扱い（落下や衝撃を加える、引きずる等）しない。

このフィルムは重量物であるので、運送時に腰を痛める恐れや、落下によりけがをする恐れがあるので、荷扱いには気を付ける

保管時の注意事項

横積み厳禁、倒れるような積み方をしない

水濡れ、湿気、直射日光は厳禁。常温室内保管。火源との接触は厳禁

ラッピング時フィルムが切れる恐れがあるので、フィルムの両端に傷をつけない。

ダンボールに入れて保管する。

長期間の保管により、荷崩れあるいはフィルムの過剰粘着により、フィルム剥離不良を引き起こす場合があるので、過大な積み重ねや長期間の保管は避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

ばく露防止策

設備対策

適用しない。

保護具

眼の保護具

特別な眼保護は必要でない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた手袋と保護衣を使用する。手袋と保護衣については使用状況に適した材質であるかどうかをメーカーに訊く。

呼吸用保護具

通常の使用条件では、呼吸保護具が必要な程度の粉塵ばく露は予想されない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态:	ロール状フィルム
形状、色、臭い	フィルム、透明、無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	中性
融点・凝固点	120°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	350~400°C
蒸発速度	データはない。
引火性（固体、ガス）	区分されない。
燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度	データはない。
比重	データはない。
溶解度	データはない。
溶解度（水以外）	データはない。



n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	400°C以上
分解温度	300°C以上
粘度	データはない。
揮発分	データはない。
密度	0.08-0.09 g/cm ³
溶解性	無し
吸湿物質の有無	無し

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

120°Cで溶解し使用できなる。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

知見はない。

条件

特段の規定はない。

当社が推奨する使用条件では有害な分解生成物は予想されない。有害な分解生成物は酸化、加熱又は他の物質との反応によって発生することがある。(燃焼時、二酸化炭素(CO₂)、一酸化炭素(CO)及び可燃性炭化水素を発生する。)

11. 有害性情報

皮膚腐食性、刺激性、感感性、急性毒性：特に問題ないと考えられる。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

皮膚に付着した場合

製品使用時の皮膚刺激性は予想されない。

吸入した場合

人体への影響は考えられない。

飲み込んだ場合

人体への影響は考えられない。



追加情報

本製品を当社の推奨する方法に従って通常の条件で使用する場合には、有害な健康影響は発生しないと考えられる。しかしながら、当社が推奨する方法に従わないで使用又は加工した場合には、製品の性能に影響を及ぼしたり、健康影響や危険性が発生する可能性がある。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

成分についての試験データはない。

残留性・分解性

試験データはない。

生体蓄積性

試験データはない。

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

船舶安全法、航空法の危険物に該当しない。

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。水濡れ厳禁、荷崩れ防止措置を行う。ダンボールを傷める様な乱暴な扱い（落下等による衝撃を加える、引きずる等）をしない。

15. 規制情報

化学品分類及び危険性公示通則では、危険品に該当しない。

規制での化学品安全ラベル要素に該当しない。

16. その他の情報

改訂情報

2015/03/01 JIS Z7253:2012に対応書式に変更

免責事項：

この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。記載内容のうち、含有量、物理的物性などの値は、情報提供であり保証値ではありません。

当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。

本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。